



# 曾谷の風

学校教育目標「『ゆめ あすから』チャレンジする子どもたち」

東国分爽風学園  
市川市立曾谷小学校  
校長 田部井 伸郎

[→爽風学園ブログはこちら](#)

[→「爽風だより」はこちら](#)

[→学校ホームページはこちら](#)

曾谷っ子の合言葉 「元気・本気・勇気」～3つのキを育てよう～



運動会という一大イベントを終え、学校にも平常が戻ってきました。子どもたちは疲れも見せず、元気に過ごしています。

引き続き、学校運営へのご理解ご協力のほどお願いいたします。

## 交通安全教室

先月 16 日（金）に 1 年生と 3 年生を対象とした交通安全教室が行われました。

子どもたちが自分の命を守るための知識と行動を身につけることはとても大事です。交通安全教室は、子どもたち自身が安全に日常を過ごすための「生きる力」を育てる教育の一環です。



入学したばかりの 1 年生は必須となりますし、3 年生もお兄さん・お姉さんになってきているとはいえ、昨年度教室を行っていないうえに、まだまだ気をつけさせたい年齢ですので、1 年生と 3 年生での実施としました。

学んだ内容をしっかり身につけて、今後も安全に元気に過ごしてほしいと願います。また地域の皆様におかれましても、子どもたちを見かけた際は、見守りをお願いできれば幸いです。よろしくお願いいたします。 → [HP 記事](#)

## 机椅子調整ボランティア

19 日（月）に学校支援ボランティアの「曾谷小応援隊」に児童の机・椅子の高さ調整をお願いしました。ご存じのように、成長期にある子どもたちが使う机・椅子は、成長に合わせて高さの調整が可能となっています。



成長に合わせて、机・椅子の調整をしなければならぬ子は多いです。しかし低学年・中学年の子どものうちでは、自分たちで調整を行うには力が足りず、また危険を伴います。かといって担任が 1 人で 1 クラス分の調整を行うには数が多過ぎます。

そこで「曾谷小応援隊」をお願いすることになったものです。この日は 7 人（現役の保護者 2 名）にお手伝いをいただきました。

子どもたちは学校で過ごす時間のほとんどを、教室の机・椅子で過ごしますので、相應しい高さに調整することは、健康的な姿勢を保つことや、視力を低下さ

せないこと、集中力を維持すること、ひいてはよりよく学習することにもつながり、子どもたちにとってかなり大事なことです。

ピッタリ合った机・椅子でさらに学習に集中できています。 → [HP 記事](#)

### こころの劇場（6年生）

20 日（火）に「こころの劇場」が本八幡にある市川市文化会館で行われました。

あの劇団四季が市内の小学6年生を、無料招待してミュージカルの鑑賞教室を行うというのが「こころの劇場」です。

感受性の優れた時期に「本物」に触れさせることはとても重要だと思います。

公演中、子どもたちの様子を見ていましたが「本物」に触れ、素直に驚き、笑い、感動しているようでした。「泣くと思っていたのに泣いちゃった」という子、「別の舞台も観に行く！」という子など、感想を聞いても、みんな大満足の様子でした。とてもよい機会になりました。 → [HP 記事](#)



### ティーチャーズカフェの取組

29 日（木）にティーチャーズカフェが曾谷小学校で開催されました。



これは、爽風学園3校の[地域学校協働活動推進員](#)（学校と地域の橋渡し役。以下、コーディネーター）による主催で、学校の先生方に気軽にカフェに立ち寄ってもらいお話をすることで、学校としてこんなお手伝いが欲しいというニーズを把握したり、地域住民の方やコーディネーターたちと顔見知りになったりすることが目的です。

東国分爽風学園のコーディネーターは、統括の鈴木さん、東国分中の伊藤さん、山中さん、稲越小の松山さん、池口さん、本校の石橋さん、花田さんの6名です。

学校がお手伝いをしたい方々を募るには、本校の学区だけではなく、中学校ブロックで探した方がより見つかりやすくなりますし、それが地域の連携や活性化にもつながります。この日も、コーヒーやお茶を飲みながらいろいろな話がありました。

また、この日は、東国分爽風学園がティーチャーズカフェを通じてモデル的な活動をしているということで、教育委員会から教育政策課（小中一貫型教育を担当する部署）と学校地域連携推進課（その名の通り学校と地域の連携を図る部署）の2課の職員が取材に来ていました。

ティーチャーズカフェから、「地域とともにある学校づくり」、「学校を核とした地域社会づくり」が推進されていきます。 → [HP 記事](#)